

（1）調査の目的

本市のこども・若者を取り巻く現状及び課題を的確に把握し、社会生活や日常生活を円滑に送ることが難しい方等への支援のあり方等を検討するために、こども・若者を対象に意識調査を実施します。

（2）実施内容

調査期間：令和6年3月11日（月）から令和6年3月31日（日）まで

調査方法：住民基本台帳からの無作為抽出で調査対象者を決定し、対象者に対し調査票を送付した。

回答方法は郵送もしくはオンラインでの回答。

（3）実施結果

調査対象者	調査数	回答数	回答率
中学生～高校生等（13～18歳）	1,500件	521件	34.7%
若者（19～29歳）	1,500件	447件	29.8%

（4）分析結果（案）

資料4 - 1（流山市こども・若者意識調査 報告書【概要版】）

資料4 - 2（流山市こども・若者意識調査 自由記述（抜粋））のとおりに

（5）分析結果のポイント

3（1）学校生活【中学生・高校生票 問2・5ページ】

- 学校に「ときどき行きたくないと思う」が40.4%、「よく行きたくないと思う」が9.4%となっています。「ときどき行きたくないと思う」「よく行きたくないと思う」は、学年別にみると高校生・その他が中学生を上回っています。

5（1）安心して過ごせる場所【中学生・高校生票 問12・14ページ/19～29歳票 問3・15ページ】

- ホットできる場所は、「自宅の自分の部屋」が最も高く、次いで「自宅のリビング、居間など」、**中学生・高校生では「インターネット空間（SNSやオンラインゲーム等）」**、**19～29歳では「実家」となっています。**

6（1）外出の状況（引きこもり群の該当者数）

【中学生・高校生票 問20・3・24ページ/19～29歳票 問5・3・24ページ】

- 現在の状況になったきっかけについて、中学生・高校生では「不登校」が最も高く、その他には「病気・障害」「学校を退学した」「家族以外との人間関係がうまくいかなかった」となっています。19～29歳では「病気・障害」が最も高く、次いで「不登校」「**家族以外との人間関係がうまくいかなかった**」となっています。

7（1）自己価値観、自己愛、社会的責任感【自分は周りの人から大事にされている】

【中学生・高校生票 問23・27ページ/19～29歳票 問17・27ページ】

- 中学生・高校生では、「そう思う」が62.8%、「だいたいそう思う」が31.7%となっています。ひきこもり群では、「そう思う」が25.0%と他の区分に比べて低く、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせると25.0%となっています。
- 19～29歳では、「そう思う」が55.9%、「だいたいそう思う」が38.0%となっています。ひきこもり群では、「そう思う」が46.7%と他の区分に比べて低く、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせると6.7%となっています。

7（1）自己価値観、自己愛、社会的責任【自分が好き】

【中学生・高校生票 問24・27ページ/19～29歳票 問16・27ページ】

- 中学生・高校生では、「だいたい好き」が39.5%、「好き」が30.1%となっています。ひきこもり群では、「好き」が50.0%と他の区分に比べて高い一方、「あまり好きではない」「好きではない」を合わせると37.5%となっています。
- 19～29歳では、「だいたい好き」が42.3%、「好き」が32.9%となっています。ひきこもり群では、「好き」が6.7%と他の区分に比べて低く、「あまり好きではない」「好きではない」を合わせると40.0%となっています。

（5）分析結果のポイント

8（1）悩みのごとの相談【中学生・高校生票 問30・31ページ / 19～29歳票 問22・32ページ】

- 中学生・高校生では、「受験・進路」が35.7%で最も高く、次いで「学校の勉強・宿題」が29.2%、「友だちや先輩との関係」が16.7%となっています。また、「悩んでいることや困っていることはない」は35.3%となっています。
- 19～29歳では、「お金のこと」「自分の将来・進路」が47.0%で最も高く、次いで「仕事・就職」が39.1%、「自分の身体のこと」が22.4%となっています。また、「悩んでいることや困っていることはない」は21.7%となっています。

8（2）相談機関の認知度と利用意向【中学生・高校生票 問33-1・36ページ / 19～29歳票 問24・36ページ】

- 中学生・高校生では、「相談しても解決できないと思う」が43.7%で最も高く、次いで「相手にうまく話せないと思う」が38.5%、「自分（または家族）のことを知られたくない」が28.6%となっています。
- 19～29歳では、「相談しても解決できないと思う」が53.8%で最も高く、次いで「相手にうまく話せないと思う」が26.9%、「自分（または家族）のことを知られたくない」が23.6%となっています。

9（2）市への意見提出【中学生・高校生票 問37・40ページ / 19～29歳票 問28・40ページ】

- 中学生・高校生では、市に自分の思いを伝えることについて、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると37.0%となっています。また、「伝えたい意見はない」が39.0%で最も高くなっています。
- 在籍別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、中学生が41.3%で高校生・その他を上回っています。
- 19～29歳では、市に自分の思いを伝えることについて、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると31.5%となっています。また、「伝えたい意見はない」が36.9%で最も高くなっています。
- 年齢別にみると、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、25～29歳が33.9%で19～24歳を上回っています。